

指導計画・評価資料	5 年
-----------	-----

花のつくり

【単元の目標】 植物の結実のようすに着目して，植物の花のつくりや結実を調べることを通して，植物の結実についての理解をはかり，観察などに関する技能を身につけるとともに，おもに予想や仮説をもとに，解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
※各観点の評価は，「花のつくり」「4．花から実へ」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第 1 次	花のつくり アブラナの花が咲いた後，実はどこにできるのだろうか。 観察1 アブラナの花と実	思①／植物の花や実のつくりについて問題を見いだし，自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		知②／虫眼鏡やピンセットなどの器具を目的に応じて用意し，正しく扱いながら，花と実のつくりを観察しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		知①／アブラナの花には，1つの花にめしべやおしべがあり，花びらが散った後，めしべのもとが育って実になることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態①／ヘチマに興味をもち，育て方を調べたり，栽培計画を立てたりしているかを確認する。（行動観察・発言・記述分析）

1．植物の発芽と成長

【単元の目標】 植物の発芽や成長のようすに着目して，それらにかかわる条件を制御しながら，植物の育ち方を調べることを通して，植物の発芽や成長とその条件についての理解をはかり，観察，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに予想や仮説をもとに，解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	植物の発芽と成長 植物は，どのような条件がそろえば，発芽し，成長するのだろうか。	思①／植物の発芽と成長について問題を見いだし，自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第 1 次	種子が発芽する条件 種子が発芽するには，水が必要なのだろうか。 実験1 水と発芽の関係	思①／植物の発芽について予想や仮説をもち，条件に着目しながら解決の方法を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知④／植物の発芽に水が必要かどうかを調べ，実験の方法や結果を適切に記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）
	種子が発芽するには，水のほかに，適当な温度や空気も必要なのだろうか。 実験2 温度や空気と発芽の関係	思②／植物の発芽について，実験結果をもとに条件と関係づけて考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知②／植物の発芽には，水・温度・空気が関係していることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第 2 次	種子の発芽と養分 子葉がしぼんでいくのは，どうしてだろうか。 実験3 子葉にふくまれる養分の変化	知④／ヨウ素液などを目的に応じて用意し，安全に正しく使って観察し，記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		知①／植物は，種子の中の養分をもとにして発芽することを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第 3 次	植物が成長する条件 子葉が取れた植物が，さらに成長するには，どんな条件が必要なのだろうか。 実験4 日光や肥料と植物の成長	思①／植物の成長について予想や仮説をもち，条件に着目しながら実験を計画し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		思②／植物の成長について，実験結果をもとに条件と関係づけて考察し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		知③／植物の成長には，日光や肥料などが関係していることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（日光のめぐみを活用する，人工光型植物工場）	態②／植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

2. メダカのたんじょう

【単元の目標】 魚を育てる中で、卵のようすに着目して、時間の経過と関係づけて、魚の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	メダカのたんじょう メダカのたまごは、日がたつにつれ、どのように育っていくのだろうか。	思①／メダカの発生や成長について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
第1次	メダカのたまご メダカのたまごは、どのように育っていくのだろうか。 観察1 メダカのたまごの育ち	知②／メダカを飼育して、雌雄の体の特徴などを観察し、結果を適切に記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		知②／解剖顕微鏡などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、メダカの受精卵のようすを観察し、結果を適切に記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／メダカの発生や成長と、その変化にかかわる時間に関係づけて考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知①／メダカには雌雄があり、受精卵は日がたつにつれて中のようすが変化して子メダカが誕生することを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態①／メダカの卵の成長や雌雄の特徴について、進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（行動観察・発言・記述分析）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（マグロの養しよく）	態②／メダカの誕生について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

3. ヒトのたんじょう

【単元の目標】 ヒトの発生についての資料を活用する中で、胎児のようすに着目して、時間の経過と関係づけて、ヒトの発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、資料調べなどに関する技能を身につけるとともに、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	ヒトのたんじょう 母親の体内で赤ちゃんはどのように育っていくのだろうか。	思①／ヒトの母体内での成長のようすについて、既習の内容や生活経験をもちに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
第1次	ヒトの受精卵 ヒトは、母親の体内で、どのように育って誕生するのだろうか。 資料調べ1 ヒトがたんじょうするまで	知②／ヒトが母体内で成長していくようすを目的に応じて図鑑やインターネット、模型、養護教諭や医師へのインタビューなどの方法で調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		知②／ヒトが母体内で成長していくようすについて調べた結果を適切に記録しているかを確認する。（記録分析）
		態①／ヒトの母体内での成長のようすに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
	ヒトがどのように育ってきたのかをまとめて発表しよう。	思②／ヒトの母体内での成長のようすについて、動物の発生や成長とその変化に関係づけて考察し、表現しているかを評価する。（発言・行動観察）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（いろいろな動物のたんじょう）	知①／ヒトは、母体内で成長して生まれることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／ヒトの誕生について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

台風と気象情報

【単元の目標】
雲の量や動きに着目して，それらと天気の変化とを関係づけて，天気の変化のしかたを調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，資料調べなどに関する技能を身につけるとともに，おもに予想や仮説をもとに，解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する

※各観点の評価は，「台風と気象情報」「5. 雲と天気の変化」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第1次	台風と気象情報 台風はどのように動き，台風が近づくと天気はどのように変わるのだろうか。 資料調べ1 台風の動きと天気の変化	知③／台風の動きと天気の変化についての資料などを目的に応じて選択し，テレビや新聞，インターネットなどを活用して情報を収集しているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／台風の動きと天気の変化を関係づけて考察し，自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		態①／台風の動きと天気の変化に進んでかかわり，粘り強く，他者とかかわりながら，生活経験を想起したり，調べようとしていたりしているかを確認する。（行動観察・発言・記述分析）
第2次	風や雨とわたしたちの暮らし 台風による風や雨は，わたしたちの暮らしとどんな関係があるのだろうか。	知②／台風による災害には，気象情報などを活用した日ごろからの備えが大切であることを理解しているかを確認する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／台風とわたしたちのよりよい暮らしのあり方について考えようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

4. 花から実へ

【単元の目標】
植物の結実のようすに着目して，それらにかかわる条件を制御しながら，植物の花のつくりや結実を調べることを通して，植物の結実とその条件についての理解をはかり，観察，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに予想や仮説をもとに，解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

※各観点の評価は，「花のつくり」「4. 花から実へ」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	花から実へ 植物は，どのようにして実をつくり，生命を受け継いでいくのだろうか。	態①／植物の花が実へと変化し，種子ができることに進んでかかわり，粘り強く，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
第1次	花のつくり ヘチマのめばなとおばなは，どんなつくりになっているのだろうか。 観察1 ヘチマの花のつくり	思①／めばなとおばなの花のつくりの違いについて問題を見いだし，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		知②／顕微鏡などの器具を目的に応じて用意し，正しく扱いながら，花のつくりや花粉を観察しているかを評価する。（行動観察・発言・記録分析）
		思②／めしべやおしべの観察結果を考察する中で，おしべの花粉がめしべに運ばれることを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第2次	花粉のはたらき 受粉しなければ，実はできないのだろうか。 実験1 受粉と実のでき方	思①／植物の結実について予想や仮説をもち，解決の方法を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知②／植物の結実の条件について調べ，その過程や結果を適切に記録しているかを確認する。（行動観察・発言・記録分析）
		思②／植物の結実について，実験結果をもとに受粉と結実を関係づけて考察し，自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知①／受粉するとめしべのもとが実になり，実の中に種子ができることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（いろいろな花粉の運ばれ方，リンゴ農家とマメコバチ）	態②／植物の受粉と結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

5. 雲と天気の変化

【単元の目標】 雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係づけて、天気の変化のしかたを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察、資料調べなどに関する技能を身につけるとともに、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。			※各観点の評価は、「台風と気象情報」「5. 雲と天気の変化」を通して計画している。		
次	指導計画		評価規準（B基準）と評価手法		
単元導入	雲と天気の変化 雲と天気には、どんな関係があるのだろうか。		思①／雲と天気の変化について問題を見いだし、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）		
			態①／雲と天気の変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）		
第1次	雲のようすと天気の変化 雲のようすと天気の変化には、どんな関係があるのだろうか。 観察1 天気が変わるときの雲のようす		思①／天気の変化と雲の量や動きなどの関係について、予想や仮説をもとに、自らの考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）		
			知③／空を観察しながら、1日の雲の量や動きなどを調べ、結果を適切に記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）		
			知①／天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）		
第2次	天気の変化のきまり 雲の動きや天気の変化には、何かきまりがあるのだろうか。 資料調べ1 雲の動きと天気の変化のきまり		思②／収集した気象情報から考察して、天気の変化の規則性を見いだし、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）		
			知②／天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）		
第3次	雨や雪とわたしたちのくらし 雨や雪は、わたしたちのくらしとどんな関係があるのだろうか。		知③／雨や雪などの天気の変化による災害や備え、もたらされる多くの恵みについて、資料を目的に応じて選択して調べているかを確認する。（行動観察・記録分析）		
			態②／天気の変化は、わたしたちの生活に不可欠であることから、よりよいくらしのあり方について考えようとしているかを確認する。（行動観察・発言・記述分析）		
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（天気予報で食品ロスを防ぐ）		態②／雲と天気の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）		

6. 流れる水のはたらき

【単元の目標】 流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	流れる水のはたらき 流れる水には、どんなはたらきがあり、土地をどのように変化させるのだろうか。	思①／流れる水のはたらきについて問題を見いだし、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	地面を流れる水 流れる水には、どんなはたらきがあるのだろうか。 実験1 流れる水と地面のようす	思①／流れる水のはたらきについて、予想や仮説をもち、条件に着目しながら解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知④／目的に応じて器具を用意し、正しく扱いながら、流れる水のはたらきによる地面の変化を調べているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		知①／流れる水には、地面を侵食したり、土などを運搬したり、堆積させたりするはたらきがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第2次	流れる水の量が変わるとき 水の量が増えると、流れる水のはたらきが、変化するのだろうか。 実験2 水の量が変化したときのはたらき	知④／流れる水の量の変化による地面の変化の違いを調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		知③／流れる水の量が変化すると、侵食や運搬のはたらきが変化することを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第3次	川の流れとそのはたらき 実際の川でも、同じようなはたらきがあるのだろうか。 観察1 川原や川岸のようす	知④／野外観察を計画的かつ安全に行ったり、映像資料などを活用して調べたりしているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／実際の川での流れる水のはたらきと土地の変化について、関係づけて考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
	実際の川でも、流れる場所によって、川のようすに違いがあるのだろうか。 資料調べ1 川の流れる場所によるちがい	知②／川の上流と下流によって、川幅や水の流れの速さ、川原の石の形や大きさなどに違いがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト） 態①／川の上流や下流のようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
第4次	川とわたしたちのくらし 川を流れる水は、わたしたちのくらしとどんな関係があるのだろうか。	知③／流れる水の速さや量が変わることで起こる災害があることや、人々やそのくらしを災害から守る取り組みについて理解しているかを確認する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（雨水をたくわえるスタジアム）	態②／流れる水のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

7. ふりこのきまり

【単元の目標】 振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	ふりこのきまり 振り子の振れ方には、何かきまりがあるのだろうか。	思①／振り子のきまりについて問題を見いだし、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	ふりが1往復する時間 振り子が1往復する時間は、どんな条件で変わるのだろうか。 活動 ふりこをふってみよう	思①／振り子の運動の変化とその要因について予想や仮説をもち、条件に着目して解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
		態①／振り子の運動に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
	振れ幅を変えると、1往復する時間は変わるのだろうか。 実験1 ふれはばを変える おもりの重さを変えると、1往復する時間は変わるのだろうか。 実験2 おもりの重さを変える 振り子の長さを変えると、1往復する時間は変わるのだろうか。 実験3 ふりこの長さを変える	知②／振り子の運動の規則性を調べる工夫をし、それぞれの実験器具を目的に応じて用意し、安全に正しく操作し、計画的に実験しているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		知②／振り子の運動の規則性を調べ、その過程を適切に記録し、結果を適切に計算して記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		思②／振り子の運動の変化とその要因とを関係づけて考察し、表現しているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（ゆれを小さくするくふう）	知①／振り子が1往復する時間は、おもりの重さや振れ幅に関係なく、振り子の長さによって変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／振り子の運動の規則性を利用したものづくりをしたり、振り子の運動の規則性について学んだことを生活に生かそうとしたりしているかを評価する。（行動観察・発言・作品分析）

8. もののとけ方

【単元の目標】 ものが水に溶ける量やようすに着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、ものの溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	もののとけ方 食塩などが水に溶けるときのようすを、観察してみよう。	思①／ものの溶け方について問題を見いだし、自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析） 態①／ものを水に溶かすことに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
第1次	水にとけたものの重さ 水に溶けたものの重さは、どうなるのだろうか。 実験1 水にとけたものの重さ	思①／ものの溶け方や溶けたもののゆくえについて、予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
		知①／ものが水に溶けても、水とものを合わせた重さは変わらないことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第2次	ものが水にとける量 ものが水に溶ける量には、限りがあるのだろうか。 実験2 食塩やミョウバンが水にとける量	思①／ものが水に溶ける量について、予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		知④／ものの溶け方の違いを調べる工夫をし、電子てんびんやメスシリンダーを目的に応じて用意し、安全に正しく操作して実験をしているかを評価する。（行動観察）
		知②／ものが水に溶ける量には、限度があることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
	水の量を増やすと、水に溶けるものの量は、どうなるのだろうか。 実験3 水の量とものがとける量	知③／水の量を増やすと、水に溶けるものの量も増えることを理解しているかを確認する。（記述分析・ペーパーテスト）
	水の温度を上げると、水に溶けるものの量は、どうなるのだろうか。 実験4 水の温度とものがとける量	思②／ものが溶ける量を水の温度と関係づけて考察し、表現しているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析） 知③／ものが水に溶ける量は、水の温度、溶けるものによって違いがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第3次	とかしたものを取り出すには 水溶液を冷やすと、溶けているものを取り出せるのだろうか。 実験5 水よう液を冷やす	知④／溶けているものを取り出す方法を工夫し、ろ過器具などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って実験をしているかを確認する。（行動観察）
	水溶液から水を蒸発させると、溶けているものを取り出せるのだろうか。 実験6 水よう液から水をじょう発させる	知③／水溶液の性質を利用して、水に溶けているものを取り出すことができることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（塩をつくる工場）	態②／ものが水に溶けるときの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・作品分析）

9. 電流と電磁石

【単元の目標】 電流の大きさや向き，コイルの巻数などに着目して，これらの条件を制御しながら，電流がつくる磁力を調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに予想や仮説をもとに，解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	電流と電磁石 電磁石をつくり，ゼムクリップを使って，電磁石のはたらきを調べてみよう。	思①／電磁石のはたらきについて問題を見だし，自分の考えを表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	電磁石の極の性質 電磁石と棒磁石を比べてみよう。 活動1 電磁石をつくろう 活動2 電磁石のはたらきを調べてみよう	知③／電磁石を正しくつくり，電流を流してそのはたらきを調べ，気づきや疑問を適切に記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		思①／電磁石のはたらきについて，永久磁石と比べることで問題を見だし，表現しているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
	電磁石には，どのような性質があるのだろうか。 実験1 電磁石のN極，S極	思①／電磁石に電流を流したときの極の変化とその要因について予想や仮説をもち，条件に着目して解決の方法を発想し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		思②／電磁石の極の変化と電流の向きを関係づけて考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知①／電流の流れているコイルは，鉄心を磁化するはたらきがあり，電流の向きが変わると，電磁石の極が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第2次	電磁石の強さ 電磁石を強くするには，どうすればよいのだろうか。 実験2 電磁石の強さ	態①／電磁石の導線に電流を流したときに起こる現象に進んでかわり，粘り強く，他者とかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
		思①／電磁石に電流を流したときの電磁石の強さとその要因について予想や仮説をもち，条件に着目して解決の方法を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知③／電流計などを目的に応じて用意し，安全に正しく使って，電磁石の強さの変化を計画的に調べ，その過程や結果を適切に記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／実験の結果から，電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻数を関係づけて考察し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（電磁石を利用した未来の乗り物，モーターを利用したもの）	知②／電磁石の強さは，電流の大きさやコイルの巻数によって変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／電磁石の性質やはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・作品分析）